

## 大すきなおばあちゃん

吉井小学校 四年

阿瀬川 あせがわ

ミリア

(敬称略)

私には大すきなおばあちゃんがいます。おばあちゃんの家は、私の家から歩いて二分ぐらいのところにあります。小さいころからよくあそびに行っていて、いつもやさしくむかえに来てくれます。ある冬の日のことです。おさんぽから帰ると中急に雨がふってきました。私はかさを持ってなかったので、ずぶぬれになってしまいました。おばあちゃんの家が近かったので立ちよるとすぐにタオルを持ってきてくれて、

「早うふくを着替えな。」

と言ってくれて、あたたかいココアを入れてくれました。つめたくなっていた体がだんだんぽかぽかしてきて、心まであたたかくなりました。そのときおばあちゃんは、

「かぜをひかんようにね。」

と言いました。私は、

「ありがとうございます。」

と言いましたが、今思うと、ありがとうの一言では伝えきれないかんしゃがありました。また別の日、あばあちゃんといっしょにスーパーへ行った時のことです。おばあちゃんは、重いにもつを持ってくれました。私は、「私が持つけん。」

と言いましたが、おばあちゃんは

「いける、いける。」

と笑って言いました。私はその時、前に知らないおばあさんにもつを持つの手伝ってくれたときのことを思い出しました。人がこまっているときに手伝うのは、とてもやさしいことだと思いました。だから私は、おばあちゃんがこまっていたら、これからは

「いける?」

と声をかけたり、できることを手伝ったりしようと思いました。今までおばあちゃんには助けてもらうことが多かったけれど、これからは私も助ける人になりたいです。学校で人けんについて習ったとき、先生は『人はだれでも大切にされるべきで、みんなが安心してくらせるように思いやりを持つことが大事です。』と言っていました。おばあちゃんが私を大切にしてくれるように、私もまわりの人を大切にしたいと思います。これからは

おばあちゃんだけでなく、友だちや家ぞく、こまっっている人にやさしくできるようにしたいです。おばあちゃんのやさしさをほかの人に伝えていけたらうれしいです。おばあちゃんは、いつも私の話をゆっくり聞いてくれます。うれしかったことや学校であったこと、時にはいやだったことも何でも話せます。話をしているとふしぎと気持ちが楽になります。おばあちゃん、

「それはたいへんだったなあ。」

「よくがんばったね。」

といつも私をほめてくれます。私はこの『話を聞いてもらえること』が大切なことだと思います。私も人の話をさいごまで聞ける人になりたいと思います。人けんとは、物だけでなく心も大切にすることだと分かりました。やさしい言葉や聞くこと、助けること、それが人を大切にすることにつながります。

これからはおばあちゃんのように、人の話をしっかり聞ける人になりたいです。そして、おばあちゃんにたくさん『ありがとう』を伝えていきたいです。私もまわりの人を笑顔にできる人になれるようがんばっていきます。